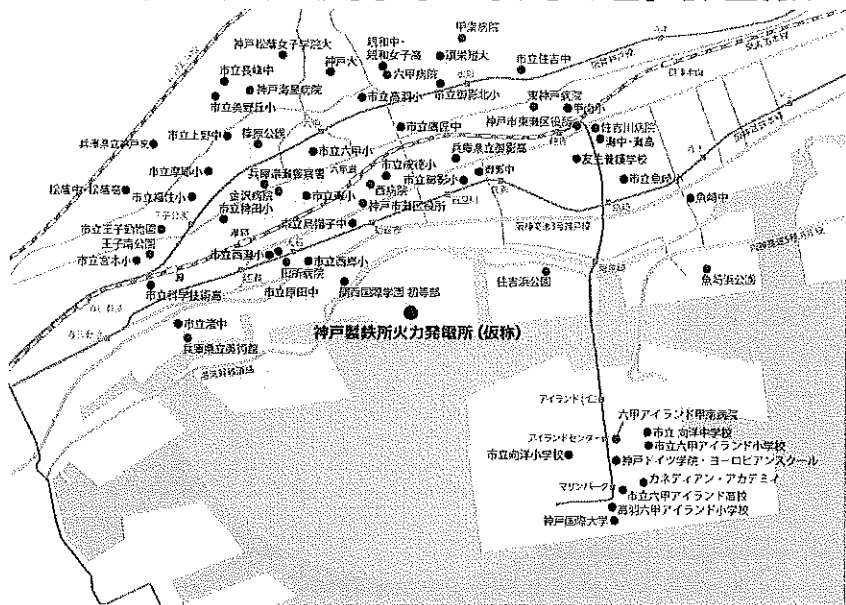


# 発電所設置計画の概要と問題点



本計画は、かつて深刻な大気汚染にあった住宅地域至近で行われるもので、**神戸・芦屋地域に多大な環境影響をもたらし、これまでの県民の環境回復努力を無にするものです。**

(左図、3km圏内)

**二酸化炭素を長期かつ大量に排出する本計画は、国、県、市などの排出削減計画と整合性を欠いています。**

**2021年から約30年稼働するならば、大量のCO<sub>2</sub>を排出します。**

**今、建設をやめることが必要です。**

## 1、大気汚染に対する評価が不十分

大気汚染に対する評価が恣意的で、最善の汚染防止技術が導入されていないなど、対策が不十分です。PM2.5について評価が行われず、環境保全措置も講じられていません。

## 3、天然ガスの2倍のCO<sub>2</sub>排出量

石炭火力発電所は、例え最新型であったとしても大量のCO<sub>2</sub>を排出することから、温暖化対策を進めるうえで**大きな支障**をきたします。

兵庫県知事も説明を強く求めています、事業者は誠意ある回答を行っていません。

## 2、“汚い”石炭を大量に消費します

石炭火力は、他の火力発電所と比べて汚染物質を大量に排出します。石炭を燃焼させることで排出される汚染物質の量を明らかにせず、環境への**影響が低減**するかのような評価結果を記載し、**市民を誤信**させています。

## 4、水銀など、重金属が排出されます

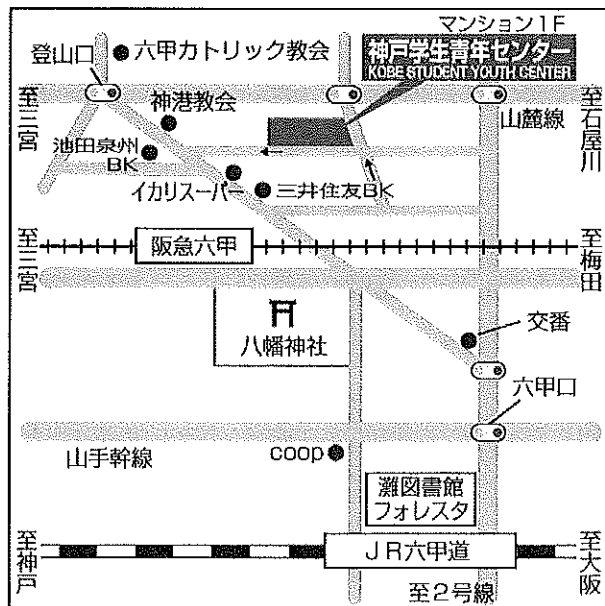
石炭には、**水銀などの重金属**が含まれています。しかし、その総排出量は示されていません。予測結果を**過小に評価**し、十分な環境保全措置が講じられているかどうか検証することができません。

送信先：気候ネットワーク京都事務所（FAX：075-254-1012）

2017/9/29 「石炭火力を考える学習会・神戸」申込用紙

## 会場案内図

ふりがな 氏名	
E-mail	@
所属 (任意)	
ご質問等	



\*ご記入いただいた個人情報は、主催団体による受付・参加者人数の把握、今後関連するイベント等のお知らせにのみ使用いたします。